

年間を通して地域の文化や資源を活かした内容でさまざまなイベントや行事が行われています。地域の活性化のためにも古くから伝わる伝統文化行事をはじめ賑わいを見せるイベント等で観光振興や地域経済の活性化、交流人口の拡大等を図っています。

7/25, 26

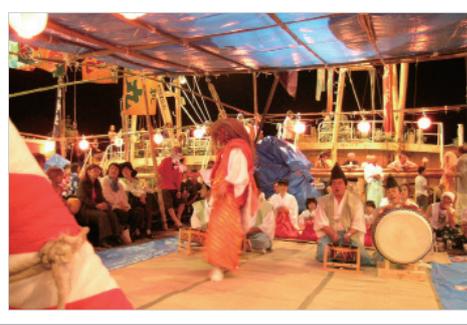
## 由良比女神社大祭

隔年（西暦奇数年）の7月最終土日に行われる由良比女神社の大祭で、数多くある西ノ島の祭の中でも最大規模のものです。初日は朝から式典と相撲が奉納されます。夕方からは神輿が繰り出され、神輿を船に乗せ、湾内を1時間程度かけて巡航します。一般の見物客も乗船が可能で、神輿を乗せた船が浦郷湾を巡航中、船上では島前神楽が催され、また海上では大迫力の花火大会が行われます。



翌日は還幸式で前日の夜に御仮屋に納められた神輿を再び由良比女神社まで担いで帰ります。

祭も終盤に差し掛かると、いい加減で終わらそうとする者と、だだばりたい（まだ神輿を担ぎ続けたい）者とのせめぎ合いが繰り返されます。



9/13

## 美田八幡宮の田楽



美田八幡宮で西暦奇数年の9月中旬（今年13日）の例祭で奉納されます。

祭礼は「神の相撲」「獅子舞」「田楽」の3部で構成され、このうち芸能として特徴をよく残している田楽は地元では「十方拝礼（しゅうはいら）」と呼ばれ、全国的に見ても屈指の芸能であるとして平成4年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。

8/16

しゃーらぶね  
精霊船流し

西ノ島の夏の風物詩として多くの人に親しまれている精霊船送り。その歴史は深く、100年以上前から造られていると言われており、竹や木を骨組みに、麦わら等を船体にし、帆柱を立て、帆には色紙で作られた無数の盆旗を結びつけたその姿は、人目を引きつける華麗さを持っています。集落によっては、小中学生を中心に造られ、子供たちへの継承活動も行われています。晴々とした8月16日の早朝、お供え物をのせた精霊船は盆歌とご詠歌に送られながら青い海を滑るように引かれています。

10/18

## 島 RUN2015 西ノ島ハーフマラソン



今年で3回目を迎える「島 RUN2015 西ノ島ハーフマラソン」を10月18日に開催します。

国賀海岸の絶景をはじめ大自然を舞台に繰り広げられるマラソンは、参加者にとって忘れることのできない思い出となります。今大会をより良い大会にするためにも、また、多くの方が参加いただけるよう、前回までのハーフコース、10kmコースに加えて、新たに3kmコースを追加。3kmコースにはファミリー部門（ペア/20歳以上保護者と小学生までの子ども）を設けました。この大会をお子様との素晴らしい思い出づくりの場にしていただけたと思います。

### 【大会参加申込について】

参加者の募集定員は300名とし、1位から3位までの入賞者の方には賞状と副賞を贈呈いたします。また、完走された方には完走証を、参加者全員に記念品を贈呈いたします。

大会参加申込は、「島 RUN2015」のホームページよりインターネット申込か参加申込書での受付とします。（インターネット・専用申込用紙ともに8月31日（月）締切 ※期限内必着）

詳しくは役場地域振興課（電話7-8777）までお問い合わせください。

西ノ島町・島 RUN 実行委員会

## 豪華客船の寄港



### にっぽん丸 6/23、10/24

総トン数：22,472トン、全長：166.6m、乗客定員：524名（最大）、客室数：202室の豪華客船です。浦郷港に寄港。普段見ることのない豪華客船が間近で見れる機会となっております。



### ばしふいっくびいなす 7/31、10/25

全長183.4m、（ビルだと30階建以上の長さ）旅客数620名のばしふいっくびいなす。浦郷港に寄港。下船された方へいわがきの振舞いなども行います。

10/24, 25

## 産業文化祭、イカ・まぐろまつり

10月24日、25日の2日間にかけて、西ノ島町産業文化祭を開催します。

今年度は船引運河が完成してから100周年を迎えるにあたり、「船引運河開削100周年」記念展示会を開催する予定で、その他にも多数のイベントを企画しております。

また、25日にはイカとまぐろをメインに開催する秋のお祭り「イカ・まぐろまつり」を同時開催します。



平成26年度のイカ・まぐろまつりのまぐろ解体風景